



AJEL

日本ラテンアメリカ学会

会 報

2001年11月1日



AJEL

No. 76

1. 理事会報告 (第96回)
2. 選挙管理委員会からのお知らせ
3. 研究部会開催案内
4. 学術・文化情報
5. 事務局から

1. 理事会報告

第96回理事会

日 時：2001年10月13日 (土) 14:00~17:00

場 所：上智大学中央図書館L-620会議室

出席者：恒川恵市 (理事長)、飯島みどり、今井圭子、大串和雄、小池洋一、二村久則、高橋均 (書記)

欠席：落合一泰、狐崎知己、清水透、松下マルタ、三田千代子

オブザーバー：石井康史大会準備委員

<報告事項>

1. 前回理事会の議事録を承認した。
2. 各委員会報告
 - (1) 東日本部会は12月8日 (土) に上智大学で、中部日本部会 (二村理事担当) は12月1日 (土) に愛知県立大学で、それぞれ秋季研究部会を開催する予定である。
 - (2) 会報75号が年7月1日付けで発行され、会報76号は12月1日発行に向けて編集途中である。
 - (3) 年報22号には論文11篇、その他3篇の応募があった。執筆要項を学会ホームページからダウンロードできるようにした。
 - (4) 2002年度はじめて行われる理事選挙に向けて、奥山恭子、鈴木茂、鈴木紀、竹内恒理、畑恵子、幡谷則子、初谷譲次の7名に選挙管理委員の職を委嘱した。委員長として奥山恭子会員が互選された。

<審議事項>

1. 入会希望者5名の入会と退会希望者4名の退会を承認した。
2. 会員から学会行事以外の広報目的に学会のメールネットワークを使いたいとの申請があった場合、既発行の名簿に記載されたアドレスに限って要望に応じることにした。
3. 第23回定期大会の準備委員会を清水透会員以下6名によって構成すること、清水会員を委員長にすることを承認し、報告募集は会報12月1日号で行うことを確認した。
4. 2003年9月に日本開催が決まったFIEALC大会に向けて、理事会としてパネル組織のイニシアティブをとることを確認した。
5. 飯島理事が2002年3月までの任期で年報編集担当となることを承認した。
6. 会報77号を2002年3月20日発送とし、この号に通知が載る春季研究部会は4月後半に行うことを決定した。

2. 選挙管理委員会からのお知らせ

理事選挙に向けて

来る2002年春に、理事選挙が実施されます。選挙権・被選挙権資格は、2002年1月末までに会費を完納していることです。未納分のある方は早めに納入してください。

なお会費納入状況の確認は、学会事務センターまでお願いします。

3. 研究部会開催案内

研究部会への積極的な参加を!

例年、秋 (11月下旬~12月)、春 (3月下旬~4月) の二度にわたり開催される研究部会 (東日本、中部日本、西日本) は、本学会の研究活動あるいは会員相互の交流親睦を深

める場として定期大会にも増して大切な機会です。定期大会と同じく、報告テーマの設定、報告者の人選は広く開かれています。

自薦他薦を問わず、日常的な研究活動の場として会員各位の積極的な参加を募ります。

〔秋季研究部会開催のお知らせ〕

《東日本部会》

日時：12月8日（土） 14：00－17：00

場所：上智大学7号館第5会議室

問い合わせ先

岸川 毅 T/F 03-5486-6465

t-kishik@sophia.ac.jp

新木秀和 T/F 045-548-1925

arak@air.linkclub.or.jp

《中部日本部会》

日時：12月1日（土）P.M. 2：00－6：00

会場：愛知県立大学外国語学部棟（E棟）4階・スペイン学科共同研究室

報告：1. 古賀優子（愛知県立大学大学院）

テオティワカン「月の広場」における壁画研究－建築と色彩を通して－

2. 福田しのぶ（名古屋大学大学院）

エスニシティと国際協力－グアテマラの二言語・多文化相互教育をめぐって－

3. 牛田千鶴（鈴鹿国際大学）

ラティーノ EL 児童の学力向上に対する“双方向イマージョン式バイリンガル教育”の有効性

連絡先：

田中敬一 Tel. 0561-64-1111 内線2604

Fax 0561-64-1107

E-mail: keiichi@hm4.aitai.ne.jp

水戸博之 Tel./Fax 052-789-4826

E-mail: k46240a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

《西日本部会》

日時：12月8日（土） 13：30－16：30

場所：同志社大学今出川キャンパス神学館

問い合わせ先：松下マルタ理事

4. 学術・文化情報

松下マルタ（同志社大学）

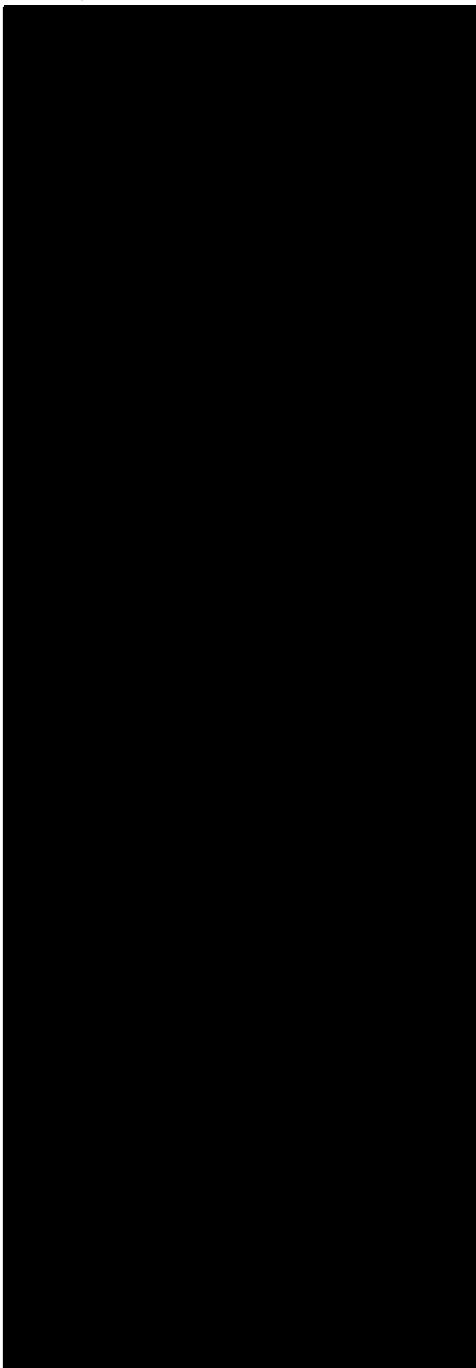
Entre el 24 y 29 de junio se realizó en Moscú el congreso de FIELAC, con asistencia de 2200 participantes, mayoritariamente de América Latina y Europa. La amplia temática determinó la realización de numerosos seminarios, mesas de trabajo y conferencias, con una dispersión en cuanto a las sedes que fue un impedimento para una participación más fluida. En la reunión plenaria se decidió elegir a Japón como sede el próximo congreso, a realizarse en el 2003.

Entre el 11 y el 14 de julio tuvo lugar en Paraguay el IV Encuentro del Corredor de las Ideas, que reúne a los interesados en los temas del pensamiento sociopolítico, filosófico y económico de los países del Cono Sur y Brasil. En este encuentro en Asunción, declarada capital iberoamericana de la cultura, se contó con la participación de especialistas no sólo del área, sino de otros países latinoamericanos y también latinoamericanistas europeos. Además de las mesas redondas y conferencias en la sede del congreso, se realizaron sesiones públicas en la sede de la universidad. Terminó con una “Declaración de los intelectuales latinoamericanos”, en la que reafirmando el concepto martiniano de “Nuestra América”, se propone, en un esfuerzo, pluridisciplinario, retomar la iniciativa intelectual, frente al impacto que las teorías globalitarias han tenido en la economía la política y la cultura, para responder con creatividad a los desafíos del tercer milenio, y colmar los déficit de teorías y propuestas propias de la región. Como nueva sede del V Encu-

entro, que tendrá lugar en 2002, fue elegida la Universidad de Río Cuarto, en Córdoba, Argentina.

5. 事務局から

I. 会員関係 (a b c 順)



元会員の富士祥子氏は病氣療養中のところ、本年9月9日逝去されました。謹んで御冥福をお祈り致します。

II. 寄贈図書

『立教大学ラテンアメリカ研究所報』
No.29 (2001年3月)

III. ホームページへの掲載について

会員の関与する内外の研究集会・シンポジウム・講演会等の情報を学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ajel/>) に掲載します。希望する会員は広報したい内容を簡潔にテキストファイルで作成して、学会事務局のEメールアドレスに添付ファイルとしてお送り下さい。

No.76 2001年11月1日発行

〒153-8092

東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科

恒川恵市研究室気付

日本ラテンアメリカ学会事務局

TEL 03-5454-6458

FAX 03-5454-4339

E-mail : tunekawa@ask.c.u-tokyo.ac.jp

第23回定期大会 研究発表及びパネル、ワークショップ募集のお知らせ

第23回定期大会は、来年6月1日（土）と2日（日）の両日、慶應大学三田校舎において開催される予定です。研究発表もしくはパネル、ワークショップ形式（3名以上）の発表を希望される方は、以下の点を明記してご応募ください。

(1) 発表者の氏名・所属・連絡先、(2) 発表題目とその分野（歴史、政治、経済、文学など）、(3) スライド、OHP、ビデオなどの使用の有無。

いずれの場合も、来年2月末までに下記実行委員会宛、書面、ファックス、あるいはE-mailにてお申し込みください。

連絡先：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学経済学部 清水透研究室気付

第23回定期大会実行委員会

FAX 03-5427-1578

E-mail chamlmex@econ.keio.ac.jp

なお、大会実行委員会のメンバーは次の通りです。

石井康史、出岡直也、大久保教宏、工藤多香子、清水透、山本純一、横山和加子

編集後記

米国での同時多発テロ発生から早くも50日が過ぎた。あまりにショッキングなこの事件は米国のアフガン爆撃を招き、誤爆による民間人の痛々しい死、爆撃から逃れようとして隣国へ向かう難民を生み出し、迫りくる冬将軍を前に、寒さと飢餓で何百万もの人々の命が危険に晒されている。まさに地獄絵である。黒柳徹子さんの呼び掛けに協力してユニセフに寸志を託した。アフガンの人々、アフガンの子供たちが一人でも多く生き長らえ、今度

こそは平和で飢餓に苦しまずに暮らせるよう、日本は政府も国民もこぞってできる限りの支援の手を差し伸べたいものである。それにしても今回の事件は、NGOや地域研究者の果たすべき役割の重要性をあらためて多くの人々に認識させる契機となった。ラテンアメリカの地域研究を志す者の一人として、自らも身を正し気を引き締めて研鑽に励みたいと念じるこの頃である。

(今井圭子)

学会センターへの問い合わせ

住所変更・異動の御連絡および会費納入に関するお問い合わせは直接、日本学会事務センターまでお願いします。

(財)日本学会事務センター大阪事務所気付

日本ラテンアメリカ学会担当 中倉佳奈子

〒565-0082 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル14階

Tel. 06-6873-2301 Fax. 06-6873-2300

受付時間 9:30-5:30 (土日休み)